

# 12月の記録的豪雪

～発生した大規模停電への対応～



昨年12月18日に町内では大雪警報が発表され、山形地方気象台大宮観測所では18日8時～19日8時までの降雪量が77cmを記録、積雪量が12月20日に129cm、24日に149cmを観測しました。これは、昭和38年冬に日本海沿岸を襲い、町内で310cmを観測した「三八豪雪」の12月同時期時点よりも大幅に多い積雪量です。その影響により、町内各地の道路脇等の樹木が次々と強風や雪の重みで倒れ、電線と接触し、広範囲にわたり最大4日間の停電が発生しました。

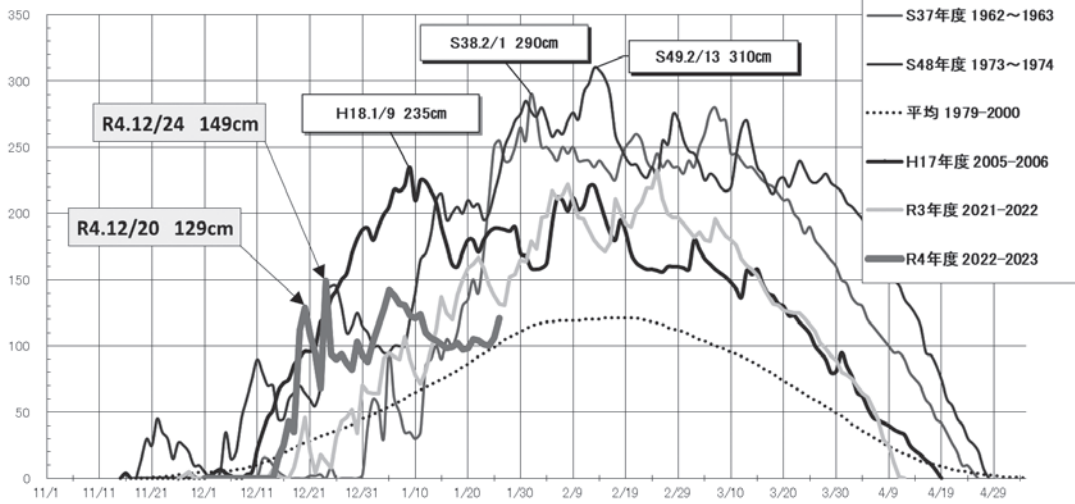
今月は、記録的な積雪となった12月の豪雪について、概要と町の対応についてお伝えします。

## 経 過 （警報・積雪量等）

|       |       |                                                    |
|-------|-------|----------------------------------------------------|
| 12/18 | 10：16 | 大雪注意報、なだれ注意報発表                                     |
|       | 18：54 | 大雪警報に格上げ                                           |
| 12/19 |       | 山形地方気象台大宮観測所112cm、<br>叶水観測地点202cm                  |
|       | 11：00 | 第1回雪害対策連絡会議設置                                      |
| 12/20 | 15：33 | 大雪注意報へ格下げ                                          |
|       |       | 山形地方気象台大宮観測所129cm、<br>叶水観測地点207cm、<br>小玉川観測地点200cm |
| 12/21 | 9：00  | 第2回雪害対策連絡会議                                        |
|       | 14：30 | 第3回雪害対策連絡会議                                        |
|       | 15：30 | 第1回豪雪対策本部会議に格上げ                                    |
|       |       | 山形地方気象台大宮観測所108cm                                  |
|       | 10：00 | 第2回豪雪対策本部会議                                        |
|       | 16：00 | 第3回豪雪対策本部会議                                        |

積雪深(cm)

気象台小国観測所積雪深(大宮)



## 当時の状況

山形県内では、昨年12月18日から19日にかけて、冬型の気圧配置が強まり、県内全域で大雪となりました。本町でも、18日午後6時54分に大雪警報が発表され、18日から20日にかけて大量の雪が降りました。山形地方気象台大宮観測所では、18日午前8時から19日午前8時の間の降雪量が77cmを記録しています。その後、一時弱まるものの、23日にまた大雪となり、24日の同観測所では、149cmとなりました。これは、同観測所の同時期での観測史上最多(上図)となりました。

例年より早い大雪は、町内各地に大きな被害をもたらしました。強い冬型の気圧配置により降った湿った大量の雪は、町内各地へと繋がる道路脇の樹木を次々となぎ倒し、そうした倒木が電線や電柱を破壊、接触したことで、停電を引き起こしました。停電は早いところで、18日夜から始まり、20日には、一時約1300戸が停電となりました。



大字松崎地内



大字中島地内



大字樽口地内

※各地の電線被害状況(一部)

特集 12月の記録的豪雪～発生した大規模停電への対応～

町の対応

町では、町内各地の被害状況をとりまとめ、12月19日に雪害対策連絡会議を設置、町の警戒態勢を整え、職員の役場に待機させるなどの対応をいち早く進めました。さらに、様々な状況に対応するため、20日に、雪害対策連絡会議を豪雪対策本部へ格上げを行い、具体的な取り組みを図りました。

19日においては、南部方面や白沼地区を中心に停電が確認され、生活用水の確保が急務となったことから、飲料水（500mlペットボトル24本入り）を停電世帯へ配布しました。また、各地区の駐在員および民生委員・児童委員に対して、支援を必要とするかたの有無の聞き取りを実施

災害時応援協定

本町では、災害時に人的・物的支援について協力を確保するため、様々な災害時応援協定を結んでいます。今回、下記の事業所より支援を頂戴しましたので、紹介します。

- ・山形三菱自動車販売(株)長井支店  
PHEV車 1台（借用）
- ・NTT東日本山形支店  
衛星携帯電話4台、携帯電話充電装置1台、移動式蓄電システム2台（借用）
- ・(株)アクティオ長井営業所  
発電機2台（借用）
- ・ヤマト運輸(株)山形主管支店  
山形県からの飲料水の配送対応



借用した車両で飲料水を配布

山形県から飲料水が支援され、各世帯に配布しました。

12/21 2ℓペットボトル600本（100箱）  
12/22 2ℓペットボトル900本（150箱）

し、地区の状況把握に努めています。

翌20日、停電地区の拡大や携帯電話の一部不通など、さらなる被害が予想されたため、雪害対策本部へと格上げし、町内各地区へ巡視パトロールを実施するとともに、飲料水（2ℓペットボトル6本入り）を停電世帯へ配布しました。

21日になると、雪は弱まりましたが、停電の解消には至らず、引き続き飲料水の配布を行ったところです。また、緊急時の通信手段として、衛星携帯電話を小玉川地区、樽口地区、金目地区、樋倉・徳網地区に配備したほか、小玉川地区には停電時の電源確保として、蓄電池

システム1台、携帯電話、スマートフォン用充電器1台も併せて配置するなど、被害拡大に向けた対応にあたりました。同日、停電の長期化による暖房や飲料水が不足し、家庭での生活が困難なかたを対象として16時30分、役場庁舎に一時避難所を開設しました（22日に閉鎖）。

特集 12月の記録的豪雪～発生した大規模停電への対応～



嶋貫 三代男さん  
(市野沢)

### 生活用水 に苦慮



### 町民の声

当時の状況について話をお聞きしました

### 生まれて初めての経験



齋藤 友美雄さん  
(五味沢)

「当時の雪は、ものすごい降り様で、雪囲いをしてい  
る窓の空いている上部  
まで雪で埋まるほどでし  
た。19日の朝から停電し、  
2晩暗い中、過ごしまし  
た。電気が点かないので、  
暗くなると早めに寝るよ  
うにしていたので、寝てい  
る20時頃に一斉に電気が  
点いたときは、とても有難  
く感じました。」

「18日の夕食時に電気が  
消え、朝には携帯電話の電  
波が入らなくなりました。  
道路を確認しに行くと、徳  
網橋北部の倒木が電柱に  
直撃していました。樋倉橋  
の先の電波が入るところ  
から、東北電力へ被害報告  
をしました。」

「18日の夕食時に電気が  
消え、朝には携帯電話の電  
波が入らなくなりました。  
道路を確認しに行くと、徳  
網橋北部の倒木が電柱に  
直撃していました。樋倉橋  
の先の電波が入るところ  
から、東北電力へ被害報告  
をしました。」

「当時の雪は、ものすごい降り様で、雪囲いをしてい  
る窓の空いている上部  
まで雪で埋まるほどでし  
た。19日の朝から停電し、  
2晩暗い中、過ごしまし  
た。電気が点かないので、  
暗くなると早めに寝るよ  
うにしていたので、寝てい  
る20時頃に一斉に電気が  
点いたときは、とても有難  
く感じました。」

「当時の雪は、ものすごい降り様で、雪囲いをしてい  
る窓の空いている上部  
まで雪で埋まるほどでし  
た。19日の朝から停電し、  
2晩暗い中、過ごしまし  
た。電気が点かないので、  
暗くなると早めに寝るよ  
うにしていたので、寝てい  
る20時頃に一斉に電気が  
点いたときは、とても有難  
く感じました。」

「当時の雪は、ものすごい降り様で、雪囲いをしてい  
る窓の空いている上部  
まで雪で埋まるほどでし  
た。19日の朝から停電し、  
2晩暗い中、過ごしまし  
た。電気が点かないので、  
暗くなると早めに寝るよ  
うにしていたので、寝てい  
る20時頃に一斉に電気が  
点いたときは、とても有難  
く感じました。」

### 続く警戒

例年より早い大雪とな  
った12月、倒木による停電  
が主な被害となりました。  
1月24日からは、全国的に  
大寒波に見舞われ、町内では、  
低温による水道管の凍結等の被害が確認されて  
います。